

第4期高砂市地域福祉計画のフレーム（基本的な考え方・施策体系案）

1. 基本理念

「一人ひとりが思いやり 心ふれあう ぬくもりのまち」

第4期計画では、これまでの基本理念を継承し、引き続き、本市において、地域のすべての人々が主役となり、お互いを思いやる気持ちを持ちながら、つながり、支えあうことで、一人ひとりが自分らしく生活でき、誰一人取り残さない「ぬくもりのまち」＝「高砂市における地域共生社会」の実現をめざします。

2. 基本目標（案）

基本目標1 みんながつながり、支えあい、自分らしく生活できる地域づくり

市民一人ひとりの地域や福祉などへの意識、理解、行動を上げるとともに、世代や分野などを超えた人と人、人と資源、資源と資源などのつながりを促進することで、みんなで地域の課題を解決できる地域、みんながイキイキ暮らせる地域を創ります。

5年後にめざす市民・地域の姿

- 地域での多様なつながり・交流を持つ市民、地域・福祉に関わる活動に参加する市民が増えています。
- 市民主体の様々な地域活動・福祉活動が活性化しています。
- 地域で福祉に関わる多様な主体間や分野を超えた多様な主体間で地域課題の解決に向けた連携が図れています。
- 地域で安全に安心して暮らすことができる生活環境、防災・防犯体制が整備されています。

基本目標2 悩みや不安などを抱える人を孤立させない

総合的・包括的な相談・支援体制づくり

悩みや不安などを抱える人が地域で孤立することなく、必要な支援にしっかりとつながり、地域で自分らしく暮らせるよう、分野を横断し、多職種・多機関がつながり、全世代・全対象型の相談・支援体制を創ります。

5年後にめざす市民・地域の姿

- 悩みや不安などを抱えても、支援につながるきっかけが身近にあります。
- 悩みや不安などを抱える人が、安心して、地域で自分らしく暮らすことができるよう、多職種・多分野がつながり、相談支援及び参加支援に取り組む体制が整備・運用されています。

3. 施策体系（案）

第3期地域福祉計画の振り返りを踏まえて、第4期計画で何に取り組むべきかという視点と、高砂市における地域共生社会の実現という目的から逆算して何に取り組むべきかという視点から、第4期計画の施策体系を以下のように設定しました。

また、基本目標毎に重点的な取り組みを設定し（基本目標1－1）・2）、基本目標2－2）・3))、計画の実行性・実効性を担保します。

